

いつも、インシデント報告ありがとうございます

2019.12.26

京大病院医療安全情報118

【インスリンのバイアル製剤は専用注射器を使用する】

事例 インスリン注射器の間違い

救急外来にて患者にインスリンを持続点滴することになり、医師が点滴を調製していた。看護師がベッドサイドへ行くと、生食50mlを吸ったシリンジ（18G針）で直接ヒューマリンRを吸っているところを発見した。[未遂]

過去にも同様のインシデント報告があります。

特に、救急外来では普段調製作業を行わない医師が関与する場面があります。今一度、周知の程をお願いいたします。

※ 計量の必要な薬剤はダブルチェックをお願いします。



ヒューマリンR
1バイアル10ml=1000単位

インスリン専用注射器



B-Dロードーズ30
0.5 mL = 50単位
1目盛り1単位で計量可能

インシデント報告に基づいた注意喚起です

京大病院医療安全情報118

日本医療機能評価機構からも医療安全情報が発行されています。
(以下、抜粋したものを掲載)

医療事故情報収集等事業

**医療
安全情報**

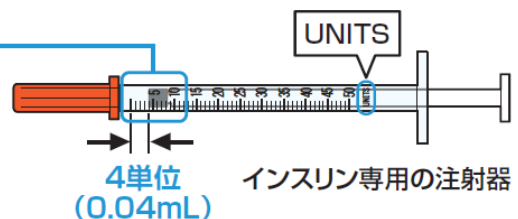
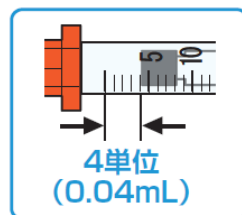
No.131 2017年10月

インスリン単位の誤解 (第2報)

投与方法	投与すべき量	誤って投与した量
皮下注射	4単位(0.04mL)	4mL(400単位)
急速静注	2.6単位(0.026mL)	2.6mL(260単位)
持続静注	0.5単位(調製液0.5mL)/h	原液0.5mL(50単位)/h

インスリンのバイアル製剤は、100単位/mLに濃度が統一されており、1単位は0.01mLです。

実際の4単位



事例1のイメージ

